

# 社会科学学習指導案

生徒 第3学年C組 男子17名 女子17名 計34名  
指導者 教諭 郡司直孝

## I 単元 公民的分野『(3) 私たちと現代社会 ア 人間の尊重と日本国憲法の基本的原則』

### II 単元の目標

人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解することができる。

### III 単元について

本単元では、民主的な見方や考え方の基礎が養えるように、人間の尊重についての考え方を、民主社会においてすべての人間に保障されるべき価値を内容としてもつ基本的人権を中心に深めさせることや、各人の人権を守り社会生活を営む規範をなるように法の意義があり、そのような法に基づいて政治を行うことによって基本的人権を保障することを目指していることを理解させること、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について考えさせることを内容としている。

本時は、日本国憲法に規定される基本的人権の学習を踏まえて、人権の固有性及び普遍性や現代社会の特色に基づいて生徒個人が設定した「保障されるべき人権」について、「新しい人権」に関する学習や他者との協議を通して自らの立場を明確にする学習活動を展開する。

### IV 生徒の実態について

社会科に対する学習意欲は高く、個別事象に対する基礎的・基本的な知識を習得している生徒が多い。また、ディスカッションや協働学習に対して意欲的に取り組む様子が見られ、他者の意見や考えを踏まえて自己の課題追究に生かそうとすることができる。しかし、基本的人権に関しては日本国憲法に規定されているものがすべてであると理解したり、日本国憲法によって与えられているものであると理解したりしている生徒が多い。また、基本的人権を自らの生活と関連付けて考察することのできる生徒はきわめて少ない。

### V 単元の評価規準

○基本的人権の尊重を中心とした人間の尊重についての考え方と、日本国憲法をはじめとした法との関連から課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【社会的な思考・判断・表現】	○人間の尊重についての考え方と法に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、民主的な社会生活について考えようとしている。  【社会的事象への関心・意欲・態度】
○人間の尊重についての考え方と法に関する様々な資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 【資料活用の技能】	
○全ての人間に保障されるべき基本的人権の考え方や人間の尊重の考え方は法によって保障されていること、基本的人権の理念は人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果であり価値あるものであること、基本的人権の理念は現代の社会生活における人間の生き方の指針となると考えられることを理解し、その知識を身に付けている。 【社会的事象についての知識・理解】	

### VI 指導計画（4時間扱い……本時4／4）

単元を貫く学習課題：（ ）は「新しい人権」として保障されるべきか？

※（ ）には、現代社会の特色を踏まえて「新しい人権」として保障されるべきと考える具体的な人権を生徒個人が設定する。

学習内容	指導内容	時間	評価			
			関	思	技	知
○個人による「単元を貫く学習課題」の設定	○「単元を貫く学習課題のための学習課題」として、「現代社会の特色から、保障されるべき人権は何か？」を設定し、その「保障されるべき人権」を、「単元を貫く学習課題」の（ ）内に定め、生徒個人の学習課題として設定する。	1	○	○		

○新しい人権① -産業や科学技術の発展と人権-	○日本国憲法が直接的には規定されていない「新しい人権」が主張されるようになった背景や、その具体例としての「環境権」や「自己決定権」などの考え方について  ( )は「新しい人権」として保障されるべきか?	1		○	○
○新しい人権② -情報化の進展と人権-	○評価に基づいたきまりの変更や見直しについて考えさせる。  ( )は「新しい人権」として保障されるべきか?	1			○ ○
○グローバル社会と人権 ○単元のまとめ	○普遍的な価値である人権を世界共通で保障するために国際連合が中心となって取り組んでいる条約の採択や取り組みについて ○現代社会の特色を踏まえて「新しい人権」として保障されるべきと考える具体的な人権について  ( )は「新しい人権」として保障されるべきか?	1 (本時)	○	○	

## Ⅶ 本時案

- 1 題材 「単元のまとめ」
- 2 学習目標
  - ・現代社会の特色から保障されるべき人権を含めた基本的人権の尊重を中心とした人間の尊重についての考え方に対する関心を高め、それらを意欲的に追究している。  
【社会的事象への関心・意欲・態度】
  - ・現代社会の特色から保障されるべき人権を含めた基本的人権の尊重を中心とした人間の尊重についての考え方から課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。  
【社会的な思考・判断・表現】
- 3 学習の展開

○学習活動	○教師の指導及び指導上の留意点	◇評価規準
○本単元における学習内容を想起する。	○プレゼンテーションソフトやワークシートを利用し、想起を促す。	
( )は「新しい人権」として保障されるべきか？(単元を貫く学習課題)		
○「単元を貫く学習課題」に対するこれまでの自分の考えを踏まえて、改めて自分の考えとその理由を明らかにする。	○机間指導を行い、これまでの自分の考えや考え方としての「効率」と「公正」を踏まえた記述となっているかを確認する。また、記述できてない生徒に対する助言を行う。	
○様々な考えや理由を持つ者と互いの考えを説明し合うと共に、批評し合う。	○初めは自分の座席近くの者と活動させるが、その後は教室内での移動を認めより広く交流させる。 ○交流の状況を把握し、特定の意見への偏りや議論の停滞が見られた場合、異なる考え方等を全体に提示する。	
○他者との交流を踏まえて、単元を貫く学習課題に対する自分の考えとその理由を説明する。	○これまでの学習内容と本時での学習内容を踏まえて記述させる。 ○前時まで記述してきた自分の立場や理由からの変容に注目させたい。 ◇自らが設定した「新しい人権」の妥当性について、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、自分の考えやその理由を適切に表現している。【社会的な思考・判断・表現】 ◇「新しい人権」に対する関心を高め、意欲的に追究している。 【社会的事象への関心・意欲・態度】	